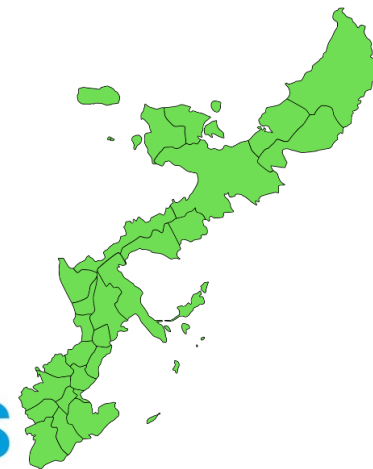


沖縄修学旅行SDGs オンライン版 アクティブラーニングプログラムのご提案

◎沖縄の若者と共に持続可能な社会について考える◎



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「株式会社note」のオンライン学習とは・・・

持続可能な社会をテーマに、若い世代が共に考え、共に情報を発する。

教えてもらうのではなく、

“平和とは何か？”

“基地問題とは何をさすのか？”

“持続可能な社会をつくるために何ができるのか？”

知識をインプットし、自分の言葉で伝え・・・、
他者の意見を聞き自分の考えと比べ、考えを深める。

対話を通じて主体的に学ぶ

アクティブラーニングプログラムです！



①沖縄平和学習 オンライン版 アクティブラーニングプログラムのご提案

[生徒が主体的に取り組む仕掛け]

16 平和と公正を
すべての人に



01 思考の活性化を図る 課題設定の創造

実際に沖縄の現地を訪れたような感覚で、ガイドによる映像を見てもらいます。

実際に現地の若者からのガイドを聞き、戦争の跡地や基地を映像で見てもらい、どんな情報を得たのか、その情報を聞いて何を感じたのか、映像を基にディスカッションしてもらいます。



コースは2コースあります。

①嘉数高台公園

・沖縄戦跡巡を振り返り、展望台から普天間基地を見る。戦争が今も続く現状を感じて平和学習につなげる

②上大謝名公園

・フェンス越しの基地にあるお墓。そこから基地ができた歴史を紐解きます。

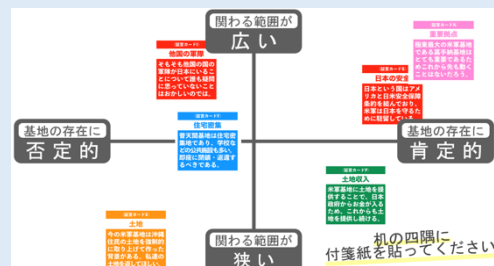


02 思考を活可視化する ツールの作成

そのあとはファシリテーター基本は1名とオンラインでディスカッションを行います。思考を可視化できるツールを使います。

証言カードX 土地 今の米軍基地は沖縄住民の土地を強制的に取り上げて作った背景がある。私達の土地を返してほしい。	証言カードI 他国の軍隊 そもそも他国の国の軍隊が日本にいることについて誰も疑問に思っていないことはおかしいのでは。	証言カードD 住宅密集 普天間基地は住宅密集地であり、学校などの公共施設も多い。即座に閉鎖・返還するべきである。	証言カードU 基地引き取り 皆さんがそんなに米軍基地が必要だと感じるのであれば、皆さんの地元で引き取ってもらえませんか。
証言カードO 父親が米兵 お父さんが米兵で、お母さんが沖縄の人なので、正直米軍基地については発言しづらい。	証言カードL 近くに基地がない 米軍基地がない地域で生活しているので、基地のメリットもデメリットもよく分かっていない。	証言カードR 生まれたときから 生まれたときから近くには基地があったので、基地がある日常が当たり前になってしまっている。	証言カードC 補償 基地は嫌だが、もう何十年も返されていないので諦めてきた。被害への補償はしっかりとしてください。

基地に関する様々な意見を論点別に分類、「自分の考え」や「他者の考え」を“視覚化”し分類・整理しながら対話をおこないます。



03 学びの深度化を図る振り返り

グループ内ディスカッションを通じ・・・

- 新たに気づいたこと
- より詳しく分かったこと
- 異なる意見から考えたこと
- 他の問題でも使える視点

などを問いかけ、学習を通して得た新たな気づきや更なる理解について自分の言葉で表現していただきます。



最後にグループの代表を選定し学年（学校）で発表会を実施してみたいかがでしょう・・・?!



②海の豊かさを守ろう オンライン版 アクティブラーニングプログラムのご提案 [生徒が主体的に取り組む仕掛け]



01 思考の活性化を図る 課題設定の創造

沖縄からスタートした「サンゴに優しい日焼け止め」ジーエルイー合同会社ディレクターの二宮 あみ氏による講演を聞いてもらいます。

二宮氏は 琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科卒。2017年に任意団体LitteratiJapan設立し、現在も代表を務める。若者を巻き込みSNSを活用した次世代のゴミ拾いの在り方として、海ごみゼロアワード2019アイディア部門環境大臣賞受賞。美らビーチクリーンプロジェクト実行委員（海と日本PROJECT in 沖縄県）としてCMやテレビ番組に出演。2020年3月よりプロジェクトマナティに参画。

他にも、ゴミ問題をテーマにしたアート展の主宰、中高生向けの環境講話活動を通して、ゴミ問題を考えるきっかけを創造し続けている。



02 情報と思考をと整理する オリジナルツール

講演会のあとはファシリテーター基本は1名とオンラインで琉球大学理学部の大学生とグループワークを実施します。海の理解を深めます。



沖縄の海マップを使って、どこにどんな生物が住んでいるのか、そしてその生物が住む環境はどんな条件が必要なのかをツールを使って整理していきます。



03 学びの深度化を図る振り返り

グループ内ディスカッションを通じ・・・

- 新たに気づいたこと
- より詳しく分かったこと
- 異なる意見から考えたこと
- 他の問題でも使える視点

などを問いかけ、学習を通して得た新たな気づきや更なる理解について自分の言葉で表現していただきます。



最後にグループの代表を選定し
学年（学校）で発表会を実施
してみたいかがでしょう・・・?!

③ 平和な未来を考える

オンライン版

アクティブラーニングプログラムのご提案 [生徒が主体的に取り組む仕掛け]

16 平和と公正を
すべての人に



01 思考の活性化を図る 課題設定の創造

高校生のニイナが、戦時中にタイムスリップして戦争を体験するストーリーです。脚本家の鍵山直子氏は、沖縄戦を長年取材し、事実に基づいたストーリー構成になっております。

沖縄戦に駆り出された同世代の若者たちの物語を資料映像や写真とマンガ、ストーリーで物語を伝えます。約45分程度のストーリーを生徒さんにご覧いただけます。

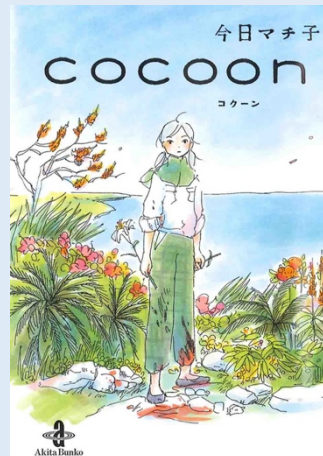


02 情報と思考をと整理する オリジナルツール

視聴会のあとはファシリテーター 1 名とオンラインで繋いでストーリーの続きを考えてもらうグループワークを実施します。

- ・映像を見て心に残っていること
- ・なぜそれが心に残っているのか
- ・新しい発見
- ・平和な未来とは？

などを話し合います。



ニイナが今の時代に戻ってきた時、何を言うのかセリフを考えてもらいます。

平和な未来をつくるための決意なのか、この時代への感謝なのか、生徒一人ひとりの個性を共有します。

03 学びの深度化を図る振り返り

グループ内ディスカッションを通じ・・・

- 新たに気づいたこと
- より詳しく分かったこと
- 異なる意見から考えたこと
- 他の問題でも使える視点

などを問いかけ、学習を通して得た新たな気づきや更なる理解について自分の言葉で表現していただきます。



ストーリーの続きを考えたワークシートを展示してはどうでしょうか？

実施までの流れ

〔旅行会社様を通じたプログラムになります。
詳細は旅行会社へお問い合わせください。〕

01 お聞かせください



オンラインアクティブラーニングでやってほしいプログラム「①平和学習」「②海の豊かさ」どちらかをご希望ください。

ご要望に合わせて、オリジナルのプログラムも作成可能です。
その場合はご要望をお聞かせください。

お問い合わせ内容

- ・希望のプログラム
- ・希望の日時（確保できる時間も教えてください）
- ・参加生徒様の人数

指定の様式をご用意しております。

02 事前の打ち合わせ

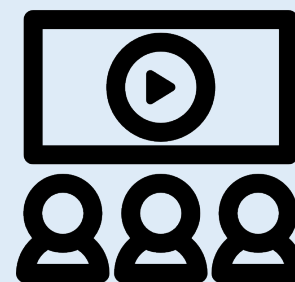


学校様のオンラインの接続状況も確認しながら、弊社スタッフとオンラインの事前打ち合わせを実施します。

約30分～60分程度で実施し、生徒様の普段の様子や、先生方のご要望、プログラムの流れやオリジナルツールの使い方などをご説明します。

オリジナルツールも生徒様の学習状況に合わせて変更し、本番前まで郵送致します。

03 本番



いよいよ本番です。
生徒様がより主体的に取り組める工夫が盛りだくさんです。

オリジナルの学習ツールを使って、主体的に取り組める工夫、アクティブラーニングプログラムで、情報整理、意見の伝達、内省をディスカッションを通して学ぶことができます。

さらにより良いプログラムづくりのため、終了後はアンケートのご協力をお願いしています。

沖縄修学旅行

アクティブラーニングプログラム 沖縄現地版

- 「**主体的な学び**」・・・学ぶことに**興味や関心**を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。
- 「**対話的な学び**」 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。
- 「**深い学び**」 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、**知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造**したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

この3つを基本にプログラムを組み立てています。

現地プログラム

①対話型平和学習

プログラム概要

テーブルコーディネーターが生徒10名~20の同じテーブルを囲み、「平和な未来」をテーマに対話を通して理解を深めます。

- 1、アイスブレイク（沖縄と自分の住む県の違いをいっぱい見つけよう）
- 2、インプット学習（沖縄戦について・基地問題についてなど）
- 3、対話で理解を深める
- 4、ワーク。
- 5、平和な世界を築くためにできること
そのための行動宣言を考える



現地プログラム

②フィールドワーク

プログラム概要

沖縄の大学生や地域の青年がガイドとなり、沖縄の基地や戦争の痕跡を案内します。
クイズ形式などでわかりやすくお伝えします。

コース概要

- ①基地が返還されてできた街を歩きながら、基地と経済について考えるコース
- ②嘉手納基地を見て地域住民の訴えを考えるコース
- ③普天間基地を見て、基地の成り立ちを考えるコース
- ④沖縄戦跡を見て、平和について考えるコース



現地プログラム

③対話型キャリア教育

プログラム概要

沖縄の大学生や青年海外協力隊OB、など様々な職業の人がテーブルコーディネーターとなり、生徒さん約10名と同じテーブルを囲み「将来設計図」をテーマに対話を通して理解を深めます。

プログラム

- 1、アイスブレイク（マシュマロタワー）
コミュニケーションや役割分担を意識する。
- 2、10年後の設計図を記入する。
- 3、グループで共有
- 4、事前学習で調べた自分の両親や周りの大人へのインタビュー
（なぜその職業を選んだのか？）を互いに共有する。
- 5、なりたい自分になるために今やるべきこと



会社紹介 株式会社note

【会社概要】

- 社名：株式会社note
- 所在地：〒904-2142 沖縄市登川2220-8
- TEL：098-959-4010 ■FAX：098-901-7130
- 設立：2016年9月13日
- 従業員数：6名
- 登録在沖縄大学生：約50名
- 事業内容：人材育成プログラム企画・運営・企業研修・
チームビルディングイベント企画・運営

【プログラム申込・受付概要】

- 受入可能人員：40～300名（プログラム内容に応じ変動します。）
- 受入可能日時：通年 時間は要相談 ※年末年始を除く
- 申込方法：受入の可否を確認の上、所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにて受付
- 申込期間：開催予定日の同日10:00より、1ヶ月前迄の受付
※申込先行受付順になります。
- 利用料金：生徒1名さま2,000円からとなります。

注）大学生の学部・在籍校・男女比などのご要望は、基本的にお受けできませんので予めご了承ください。



株式会社note
代表取締役

仲間 暁子



代表メッセージ

株式会社noteでは、経験と実感を通した教育プログラムの企画、運営を行なっています。

沖縄県には、独自の文化、伝統があります。チャンプルー文化とも呼ばれ多様な人が集まり、人と人が支え合い、受け入れあってきた文化だと思っています。
そんな沖縄だからこそできる体験プログラムを弊社では作っています。

これからの時代、コミュニケーションがとても重要になってきます。

自分の意見が間違いか正しいかではなく、互いの意見を聞き、伝えることでしか新しい価値は生まれません。
ディベートという勝ちか負けかではなく、対話を通したコミュニケーションができることが大切になってきます。

コロナで実施できなくなってしまった修学旅行は、違う土地に住む人と互いに学び、コミュニケーションの機会が持てる貴重な体験だったと思います。

オンラインという形ではありますが、アクティブラーニングとして生徒様が修学旅行で体験するはずだった学びの機会を提供できるよう今後も試行錯誤を続けて参ります。



お
問
い
合
わ
せ

株式会社  note

 098-959-4010

 info@note-okinawa.com